

## 健康のビジネス

### 100年以上の歴史を持つ企業がヘルスケアの挑戦を楽しむ

アピ株式会社

代表取締役社長 野々垣孝彦

世界がパンデミックから抜け出すにつれて、ヘルスケアとウェルビーイング (wellbeing) を促進することが今後、より一層、重要になっています。

アピ株式会社は、1907年の創業以来、養蜂事業から始まり、日本の養蜂業界の発展を支えてきました。

同社は1994年に健康補助食品分野に参入し、受託製造売上でナンバー1の地位を確立しました。2004年に医薬品の受託製造に参入し、2013年には次世代バイオ医薬品事業を立ち上げて成功を収めました。

また、生産効率の高い花粉受粉用ミツバチを開発・提供することで、日本の農業を支えています。

そして、幅広い事業を通じて蓄積された健康補助食品の専門知識を強化し、お客様の期待を超える付加価値の高い製品を設計・提供できるようスタッフ一丸となって取り組んでいます。

同社の業務には、医療用医薬品の製造と供給に加えて、季節性インフルエンザワクチンの製造と、新型コロナウイルスの日本でのワクチン製造プロジェクトへの参画が含まれます。

「お客様や市場のニーズに応えるヘルスケアソリューションを提供したい」と野々垣孝彦社長は語りました。また、「一般の加工食品分野においても、健康機能を付与した製品や原料の開発・製造を検討しています。」と話されました。